

④日本国特許庁 (JP) ⑤特許出願公開
 ⑥公開特許公報 (A) 昭63-190669

⑦Int.Cl.⁴
 B 05 B 9/04

識別記号 行内整理番号
 6762-4F

⑧公開 昭和63年(1988)8月8日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全5頁)

⑨発明の名称 エアゾール装置
 ⑩特願 昭62-22049
 ⑪出願 昭62(1987)2月2日
 ⑫発明者 目加多聯 大阪府枚方市三矢町5番-18-1007号
 ⑬出願人 大阪エヤゾール工業株式会社 大阪府大阪市西区西本町2丁目5番19号
 ⑭代理人 弁理士 朝日奈宗太 外1名

用例 細目 備考

分野において液体、粘稠体などの原液を噴霧するのに利用される。

【従来の技術】

従来のエアゾール装置としては、第4～5図に示されたものがある。

第4図に示されたエアゾール装置（以下、従来例1という）はつぎのように構成されている。耐圧容器である外筒（51）の中には柔軟な材料でつくられた内袋（52）が入れられており、この内袋（52）は外筒（51）の上端の開口部にマウンティングキャップ（53）をかしめつけることにより固定されている。前記マウンティングキャップ（53）にはさらに噴射バルブ（54）が取りつけられており、この噴射バルブ（54）はバルブハウジング（55）やシステム（56）、スプリング（57）などから構成されている。なおシステム（56）の上端には押ボタン（58）が嵌入されるようになっている。外筒（51）の底端に固定される底盤（51）には注入バルブ（52）が取りつけられており、これより噴射剤（B）が外筒（51）内に注入されるようになっ

1 発明の名称
 エアゾール装置

2 特許請求の範囲

- 1 (a)噴射剤が収容される有底筒状の外筒と、
 (b)外筒の開口端に固定される噴射バルブと、
 (c)原液が収容される筒状の内筒と、
 (d)内筒の底端側に気・液密かつ相動自在に挿入されたピストンとからなり、
 (e)前記内筒の上端が噴射バルブのハウジングと一体に接続されてなるエアゾール装置。

3 発明の詳細な説明

【産業上の利用分野】

本発明はエアゾール装置に関する。さらに詳しくは、原液と噴射剤とを分離して収容するタイプのエアゾール装置に関する。

該装置は化粧品、医薬品および工業品などの

Translation of JPS63-190669 (Published August 8, 1988)

Claim 1

An air-sol device comprising:

- (a) an outer cylinder for accommodating a jetting agent;
- (b) a jetting valve, which is connected to an end of an opening of the outer cylinder;
- (c) an inner cylinder for accommodating liquid to be jetted; and
- (d) a piston inserted in airtightly, liquid-tightly and slidably into a bottom end of the outer casing; wherein
- (e) an upper end of the inner cylinder is united with an housing of the jetting valve .

An object of the invention

It is objects of this invention to make easy a manufacturing process of an air sol device easy, and to provide a the air sol device, which is free from leakage of the jetting agent, is low at production cost and is small sized.

Explanation of reference numerals

12; piston, 31; outer cylinder, 33; jetting valve, 36; mounting cap, 11; inner cylinder, 34; valve housing, 35; stem rubber, 37c; pushing button, 34b; small hole, 37b; jetting port, 40a; liquid to be jetted, 39; gasket